

平成30年7月20日

保護者の皆様へ

大口町立大口北小学校長
天 野 功

本校の暑さ対策について

盛夏の候 保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろは、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、本年度は、特に気温が高くなっており、マスコミにもいろいろなことが取り上げられております。つきまして、本校では、下記のように新しい対応と、これまでの対応をまいりますのでお知らせします。

記

1 新しく対応すること

(1) 水泳教室及び夏休みのプール開放の可否について

大口町教育委員会の指示により、当日、プールサイドで暑さ指数(WBGT)を計測し、「暑さ指数(WBGT) 28℃以上(厳重警戒)の場合、その日の水泳教室及び夏休みのプール開放は中止とする。」となりました。高温下での「登校・プールでの運動・下校」をすることとなり、子どもの負担と熱中症等の防止を鑑みて決定されました。

本校におきまして、来週から始まります、水泳教室及び夏休みプール開放がその対象となります。暑さ指数(WBGT) 28℃以上(厳重警戒)の場合及び天候不順(雨天等)の時は、プール指導及びプール開放は中止します。中止の時は、8時10分頃に緊急メールを使って連絡します。

※ 暑さ指数(WBGT)については、裏面をご覧ください。

(2) 水筒の中身について(夏休み期間中)

夏休み期間は給食がなく、お茶を飲むことはありませんので、水筒の中身を、スポーツドリンクでもよいこととします。また、これまでと同様にお茶でも結構です。スポーツドリンクは、糖分が多く血糖値等が高くなるなど課題もありますので、各ご家庭で、十分に検討の上、お決めください。(期間は7月21日～9月2日)

尚、9月3日(月)の始業式以降、スポーツドリンクをどうするかについては、8月20日(月)の全校出校日に、改めてお知らせします。

(3) 首を冷やすスカーフ等(「クールネック」等と言われるもの)

本校は寒さ対策として、冬に、ネックウォーマーとマフラーの使用を登下校で認めております。それと同様に夏場の暑さ対策として、各ご家庭の責任で、この首回りを冷やすスカーフ等の使用を、登下校中で認めます。

ただ、登下校中に、首に巻くことの危険性、帰りの際の、手洗い場の水使用の不便性をご理解の上、使用される場合は家庭で指導をお願いします。また、学校では、それぞれの商品等の使用方法については指導ができませんので、お子さまが自分で使用できるように、各家庭での説明を十分によろしくお願いします。首を冷やすスカーフ等への記名も必ずお願いします。

尚、現在の登下校で、利用者はあまりおりません。新たにその利用を、学校から勧めるものではありません。

2 7月の学期末で対応してきたこと

(1) 毎日、全校放送で、水分補給等の指示し、熱中症等への予防の注意喚起をする。

(2) 授業など、25分以上での運動場での活動を禁止する。(但し、短時間での活動は認める。例えば、植物の水やり、生き物のえさやり、放課など、毎日の日常活動は、その限りではない。)

(3) 教室でエアコンを使用する。

(4) 体育館でエアコンを使用する。運動場で行うことも、体育館を利用する。

(5) 校内のワークスペース等の広い部屋においても、エアコンを使用する。

3 その他

- また、9月の天候等の状況を鑑み、暑さ対策を考えてまいりますのでよろしくお願いします。

裏面をご覧ください

※ 学校では、測る装置がありますので、それを利用します。

〈参考〉

暑さ指数 (WBGT (湿球黒球温度) : Wet Bulb Globe Temperature) は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。

単位は気温と同じ摂氏度 (°C) で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数 (WBGT) は人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

〈参考〉

= 暑さ指数 (WBGT) の算出式 =

〈屋外での算出式〉

$$\text{WBGT}(\text{°C}) = 0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$$

- 黒球温度 (GT:Globe Temperature)** は、黒色に塗装された薄い銅板の球 (中は空洞、直径約 15cm) の中心に温度計を入れて観測します。黒球の表面はほとんど反射しない塗料が塗られています。この黒球温度は、直射日光にさらされた状態での球の中の平衡温度を観測しており、弱風時に日なたにおける体感温度と良い相関があります。
- 湿球温度 (NWB:Natural Wet Bulb temperature)** は、水で湿らせたガーゼを温度計の球部に巻いて観測します。温度計の表面にある水分が蒸発した時の冷却熱と平衡した時の温度で、空気が乾いたときほど、気温 (乾球温度) との差が大きくなり、皮膚の汗が蒸発する時に感じる涼しさ度合いを表すものです。
- 乾球温度 (NDB:Natural Dry Bulb temperature)** は、通常の温度計を用いて、そのまま気温を観測します。